



**ピーバンドットコム**  
**尸板.COM**

# 2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

証券コード 3559 株式会社ピーバンドットコム

2020年11月16日

社名	株式会社ピーバンドットコム
本社	東京都千代田区五番町14 五番町光ビル4F
資本金	160,756千円（2020年10月時点）
従業員	32名（正社員27名・臨時雇用5名）
事業内容	プリント基板のEコマースサイト P板.com（ピーバンドットコム）を中心とした、 ”GUGENプラットフォーム”の運営
代表者	<p>代表取締役 田坂 正樹</p> <p>・略歴</p> <p>1971年 東京都日野市で生まれる 1995年 多摩大学 経営情報学部 卒業 1995年 株式会社ミスミ入社、Eコマース事業立上げに参画 (現：ミスミグループ本社 証券コード9962) 2000年 同社退社、複数企業の事業立上げに関与 2002年 当社設立 2017年 東証マザーズ上場 2019年 東証1部に市場変更</p>



## モノづくりの工程を支える**GUGENプラットフォーム** 電子機器の**基幹部品**である**プリント基板**を中心に事業を展開

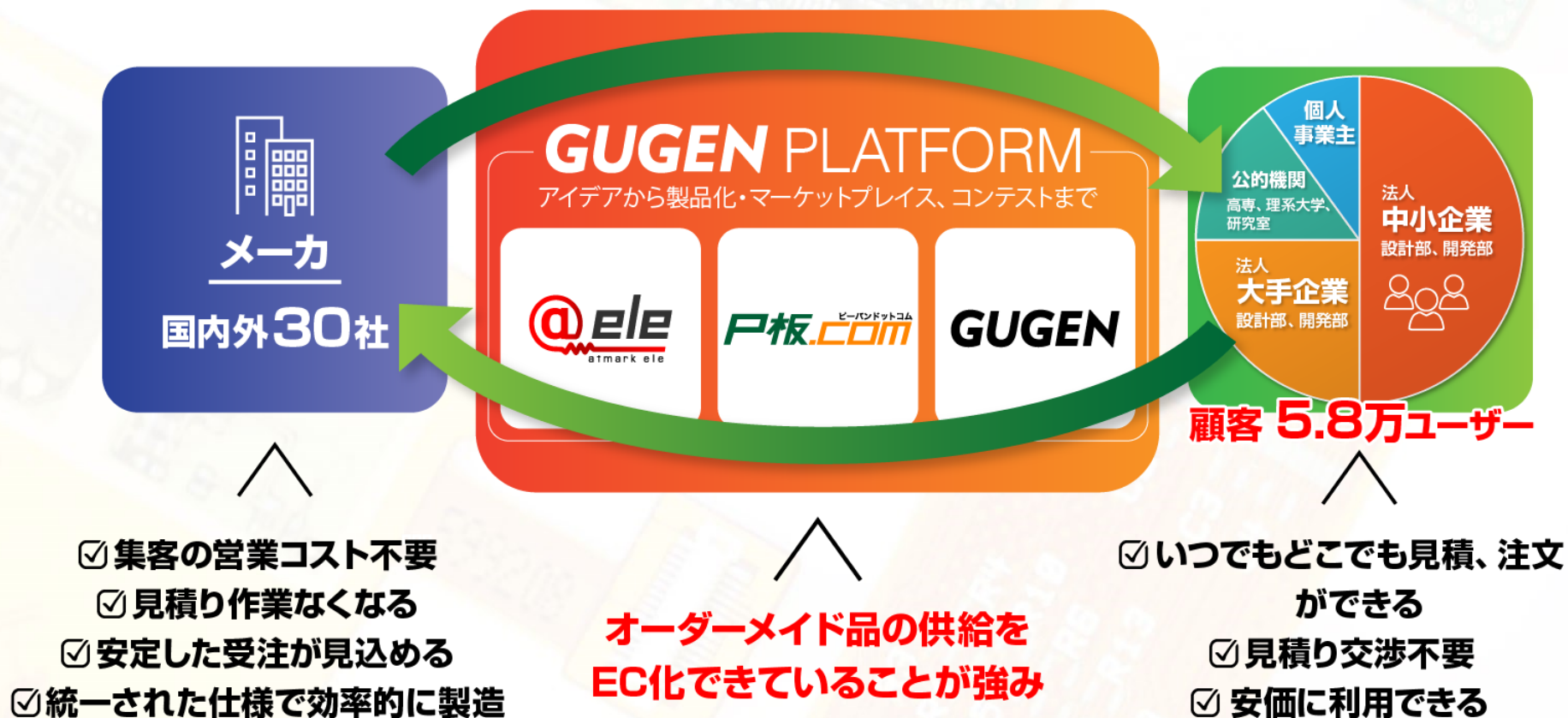


**GUGEN** グゲンプラットフォーム PLATFORM

プリント基板のEコマースが主力事業、  
昨年、電子機器の一括受託を行うP板.com EMSをリリース  
今後もサービス領域を拡大していく

## 当社が運営するプラットフォームの活用で ものづくり業界の資材調達における デジタルトランスフォーメーション (DX※) を実現する

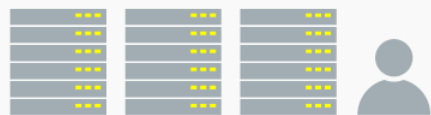
※DX：デジタル技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革する





少人数、ファブレス、非在庫商材の  
持たざる経営により**資本効率の高い事業を実現**

受注増でも  
少人数運営が  
可能な  
システムを構築



ファブレス  
による  
フレキシブルな  
事業展開



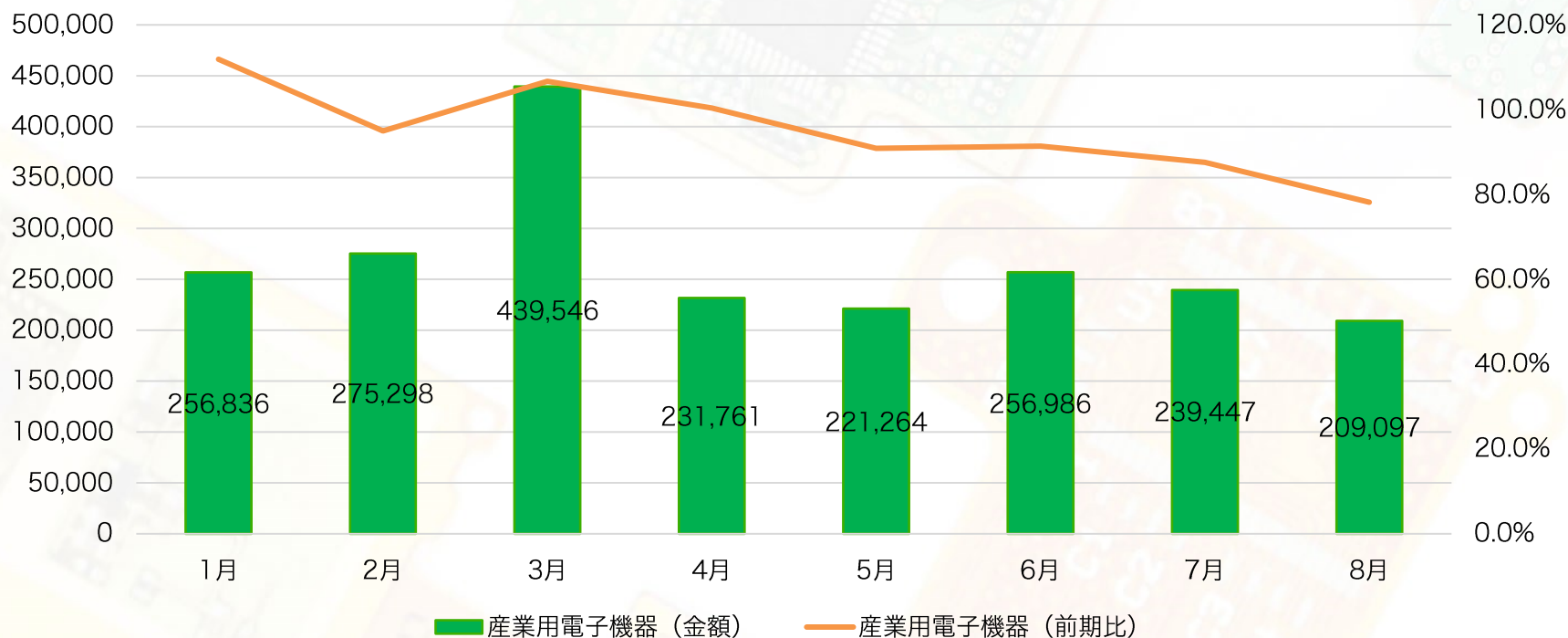
オーダーメイド  
商材で  
在庫リスク  
なし



受注が増加しても設備投資の必要なく、  
将来の事業拡大に資源を集中できる

## コロナ禍の需要減の影響を受け 産業電子機器実績は直近で前期比**78.2%**

■国内産業電子機器実績（出展：JEITA 2020年10月発表）



区 分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
産業用 電子機器	金額（百万円）	256,836	275,298	439,546	231,761	221,264	256,986	239,447	209,097
	前年同期比	111.9%	95.0%	106.7%	100.4%	90.9%	91.4%	87.6%	78.2%

## 産業用電子機器の需要減少で減収も 事業拡大に向け積極的にユーザー獲得を実施

### 売上高

**894**百万円  
(△108百万円)

全体のユーザー数は順調に推移したが、コロナ禍で国内設備投資が控えられ新規開発需要の停滞で顧客単価が低下し、前年同期比89.2%

### 売上総利益

**288**百万円  
(△56百万円)

事業拡大のための価格戦略が売上総利益率に影響したことにより、前年同期比83.8%

### 営業利益

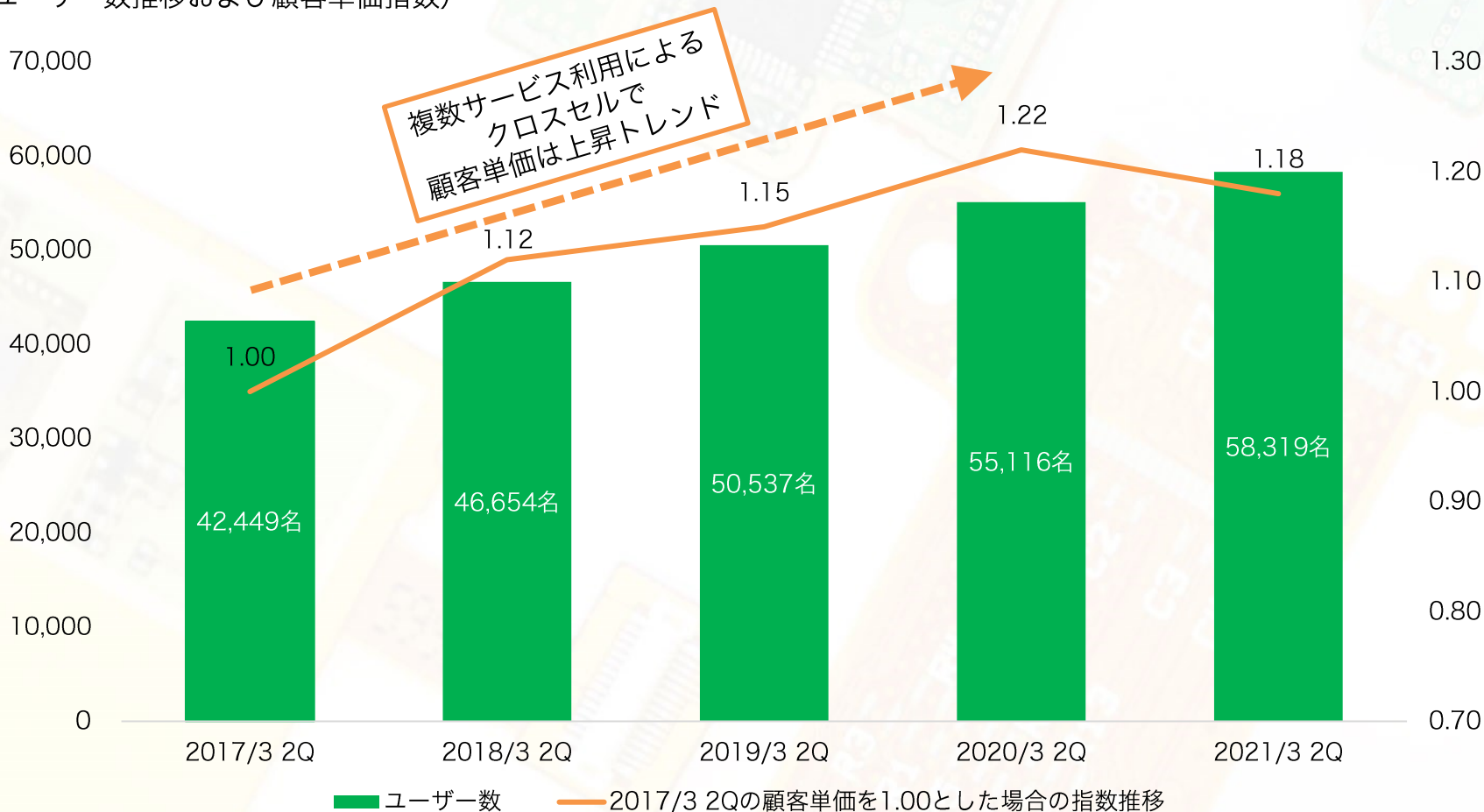
**70**百万円  
(△52百万円)

事業のDX化を促進するため投資が先行し、販売管理費は218百万円（前年同期比98.4%）と前期並みに推移したことにより、前年同期比57.3%

( ) 内は前年同期比増減

全ユーザー数は順調に推移し59,358名となるも  
コロナ禍での新規開発需要の停滞により一時的に顧客単価が低下  
売上高が前期比89.2%となる

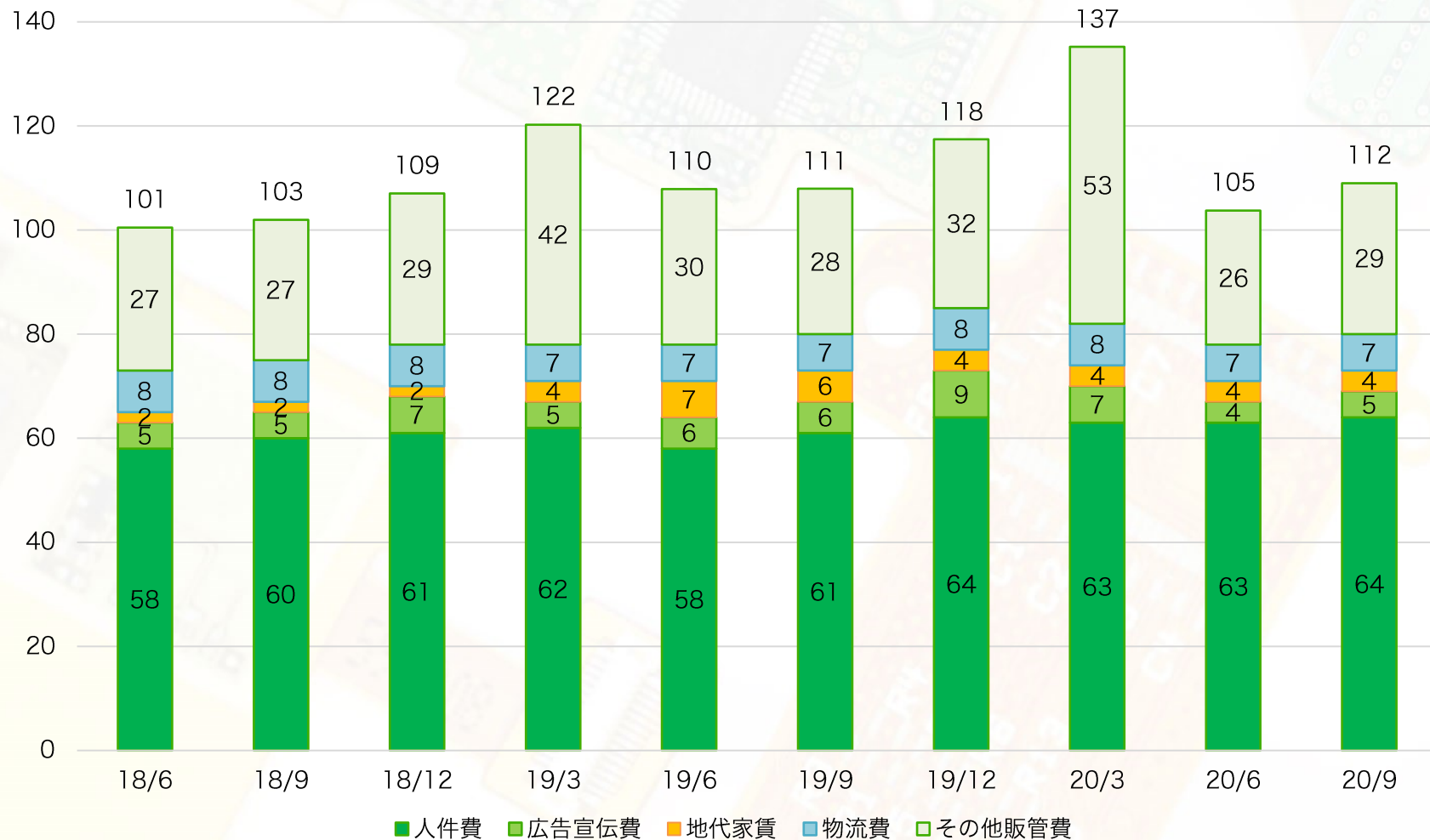
(ユーザー数推移および顧客単価指数)





受発注の自動化による少人数体制で、  
販管費は売上の増減に大きく影響を受けない  
今後の規模拡大に備え更なる業務の自動化を促進

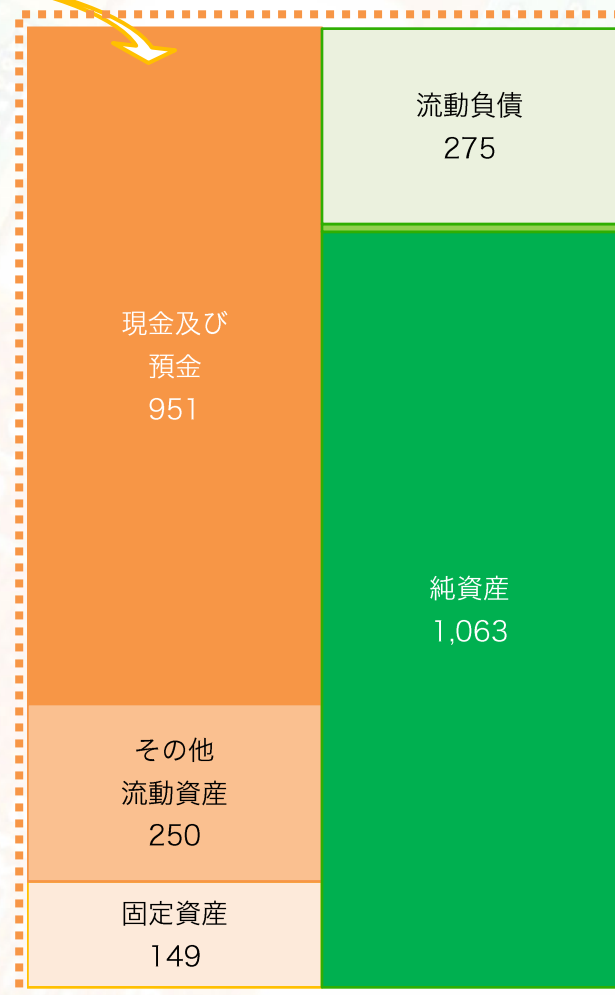
(単位：百万円)



## 2Qは自己株式の取得を実施 資本効率の向上を図りながら、引き続き**高い財務健全性**を堅持

(単位：百万円)

科目	前期末	2020年 9月末	増減
流動資産	1,298	1,201	△97
現金及び預金	987	951	△36
売上債	278	213	△65
商品	20	21	+0
有形固定資産	10	13	+2
無形固定資産	42	43	+1
投資その他の資産	92	92	△0
資産合計	1,444	1,351	△93
流動負債	305	275	△30
買掛金	183	202	+19
固定負債	12	13	+0
負債合計	318	288	△29
株主資本	1,126	1,062	△63
資本金	160	160	-
資本剰余金	126	126	-
利益剰余金	835	854	+24
自己株式	-0	-87	-87
純資産合計	1,126	1,063	△63
負債・資本合計	1,444	1,351	△93

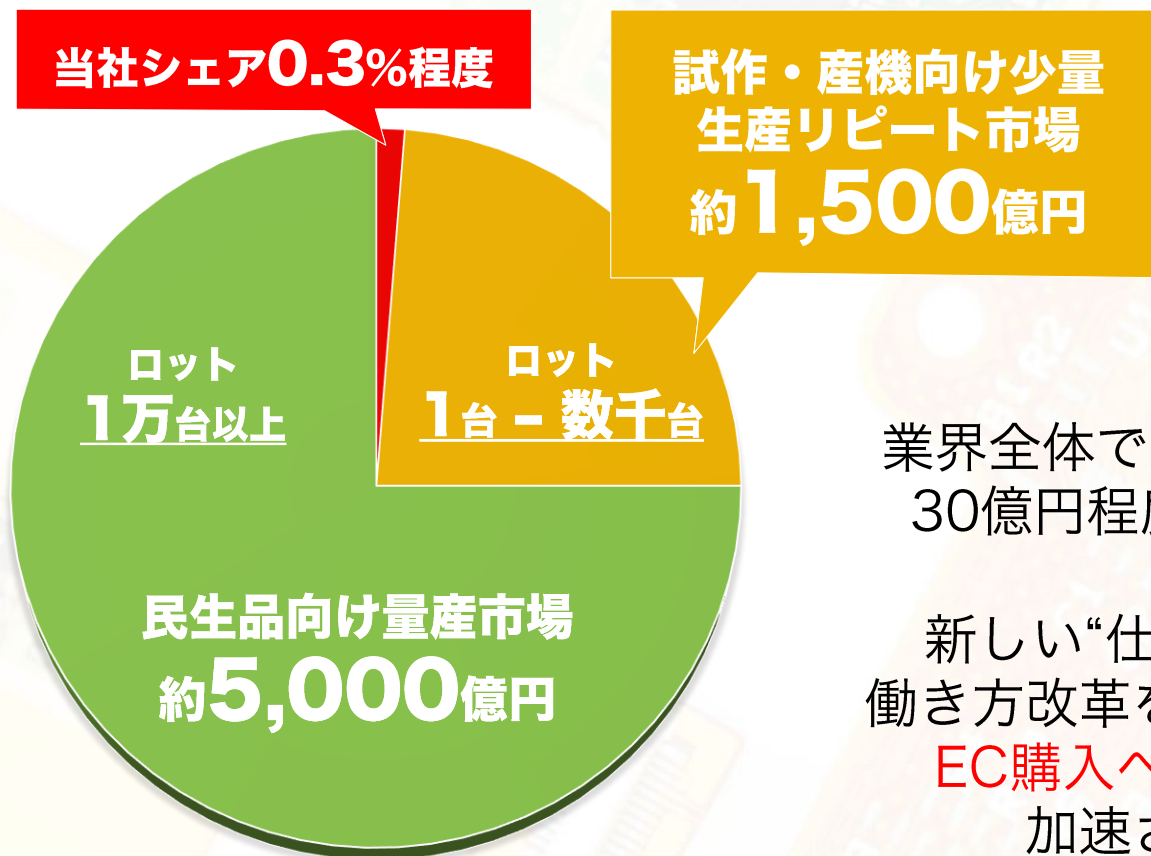


コロナ禍で前期より売上高の進捗が遅れているが、  
年度末に向けた**需要拡大で売上伸長すれば、**  
**利益も計画どおりに進捗する。**

単位：百万円

	2020年 3月期	2021年3月期		
	実績	予想	前期比	前期比
売上高	2,133	2,173	+40	101.9%
売上総利益	724	739	+15	102.0%
販売管理費	477	488	+11	102.3%
営業利益	247	250	+3	101.6%
営業利益率	11.6%	11.5%		
経常利益	232	255	+23	110.2%
経常利益率	10.9%	11.8%		
当期純利益	111	175	+64	157.0%
当期純利益率	5.2%	8.1%		

プリント基板の国内生産額は約6,500億円、  
当社シェアは0.3%（売上21億円/20年3月期）で**成長余地は大きい**

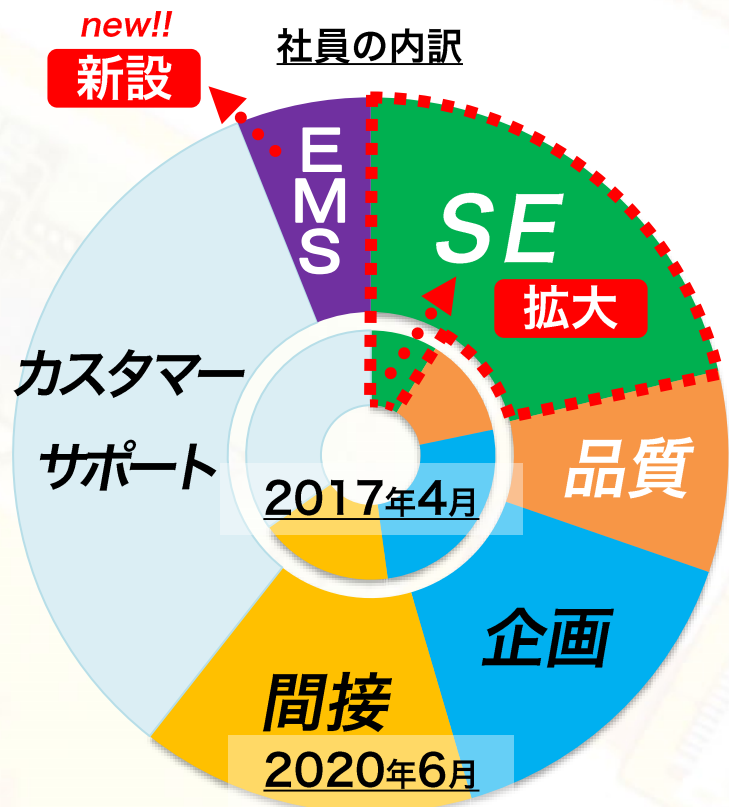


業界全体でECでの購入は、  
30億円程度（当社調べ）

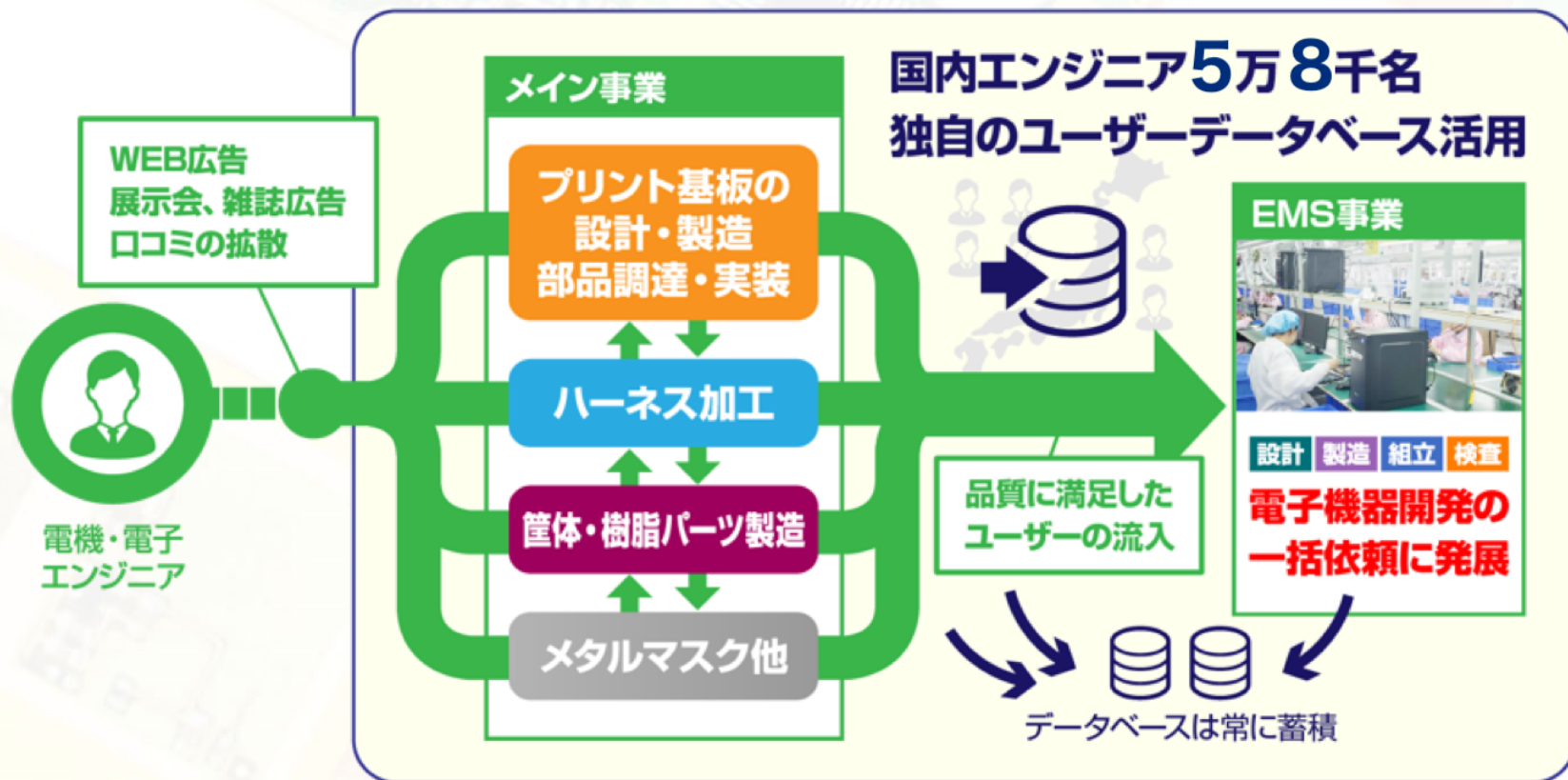
新しい“仕事”様式による  
働き方改革を追い風と捉え、  
**EC購入への切り替えを**  
加速させていく



今期は、**GUGENプラットフォーム**のサービス拡大、  
事業の中核となるシステムインフラの整備体制強化のため  
**EMS専門人員、システムエンジニアを増員も、**  
少人数経営による収益最大化の方針に変更なし



昨年12月に**EMS（電子機器製造受託サービス）**をリリース  
事業拡大に向け、業務提携先への設備貸与により体制強化を図る

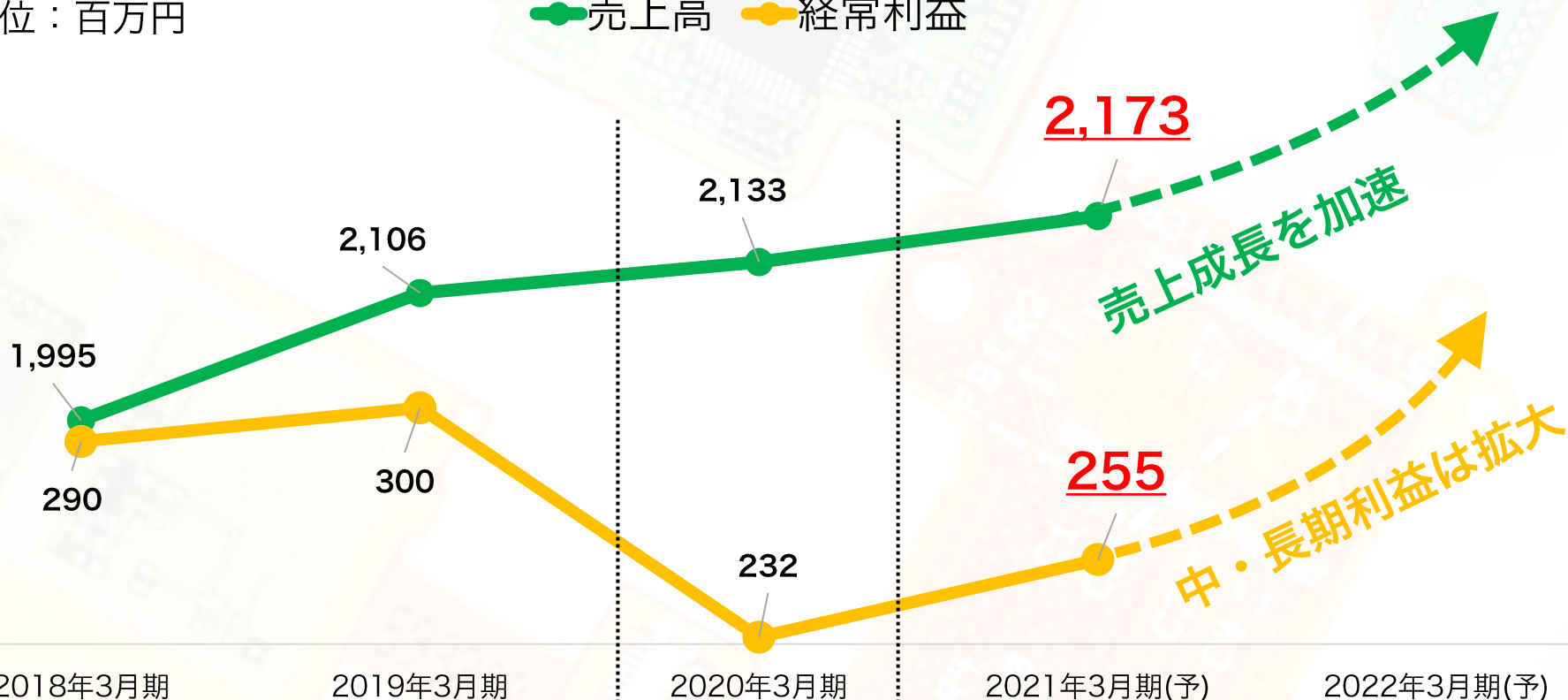


製品の設計・開発～完成・出荷まで  
モノづくりにおける一連のプロセスを完全サポート  
プリント基板の枠を超えた事業展開を実現していく

ものづくり業界のDX化を目指し、  
安定した財政基盤を活かした**事業拡大への投資を継続**。  
中・長期的な利益成長を目指す。

単位：百万円

●売上高 ●経常利益



2018年3月期

2019年3月期

2020年3月期

2021年3月期(予)

2022年3月期(予)

実績

戦略的  
投資

投資回収  
フェーズ

既存の**EC事業**とともに**EMS事業**を成長させながら、  
**M&A**も視野に入れ**事業拡大を図る**





# 開発環境をイノベーションする

*Innovate the development work environment.*



証券コード3559